

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	14514	事務事業名	道路橋りょう総務一般事務費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路行政に係る総合的事務を遂行する業務	事業の目的 (意図)	道路法に基づいた道路行政を行う上で、必要な経費を支出するものである。
事業の内容 (手段)	旅費、事務用品、道路パトロールカー等の車検及び重量税、保険料、負担金、損害賠償金等の支出		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	2.0	2.0
市内直轄道路事案件数	国道2号の事案件数 (富海拡幅、周南立体)		件		実績値	2.0	2.0
					達成度(%)	100.0%	100.0%

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,641	4,435	4,423	4,110
うち一財		千円	4,293	4,094	4,102	3,792	4,102
(決算額)	直接事業費	千円	4,452	4,032		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	4,122	3,710			
	正職員人件費	千円	2,962	4,030			
	人工数	人	0.40	0.55	0.75		
	支出コスト	千円	決) 7,414	決) 8,062			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	政権の変動により、国の直轄事業の検証が行われている。		課題・問題点	■ 妥当性 ■ 有効性 ■ 効率性 各協議会への加入については、加入することによって得られる利益を常に検証する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	要望活動を行う協議会等への加入は義務付けられているものではないが、政治、経済状況の変化を踏まえ加入によって得られる利益を常に検証しつつ加入の可否を決定していく。		評価責任者コメント	道路法に基づいた道路行政を行う上で必要な経費である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路橋りょう総務一般事務費	道路行政に係る総合的な事務の遂行	旅費、事務用品、道路パトロールカー等の車検及び重量税、保険料、負担金、損害賠償金等	4,032	0.55	0.00	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	14523	事務事業名	道路台帳整備事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路の円滑な維持管理と財産管理を行うための道路台帳整備業務	事業の目的 (意図)	道路管理者として、道路台帳を適正に更新することで、円滑な維持及び財産の管理を行う事ができる。 また、道路に接する沿道の住民のためにも、道路法が及ぶ領域を明確にしておく必要がある。
事業の内容 (手段)	新規に認定された路線や、道路改良、補修等により変更のあった路線について最新のものへ更新するため、図面、調書等を整備する。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
市道延長距離	更新実績	km		目標値	1,208.0	1,211.0	1,214.0
				実績値	1,206.3	1,214.0	
				達成度(%)	99.9%	100.2%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	10,667	18,343	22,293	10,021	10,357
(予算額)	うち一財	千円	10,667	18,343	22,293	10,021	10,357
(決算額)	直接事業費	千円	10,667	14,826		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	10,667	14,826		道路台帳統合・電子化業務完了に伴う減額	
	正職員人件費	千円	741	4,396			
	人工数	人	0.10	0.60	0.25		
	支出コスト	千円	決) 11,408	決) 19,222			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始から状況の変化はない。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 平成29年度に台帳統合・電子化が図られ、システムによる一元管理が可能となるが、成果物のチェック及び管理等を十分に行なう必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	道路を管理する上で、必要不可欠なものであり、継続して実施していく。		評価責任者コメント	道路管理者としての管理業務を適切に遂行するため、着実に実施する必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成29年度に台帳統合・電子化が図られ、システムによる一元管理が可能となる事で、毎年度実施している道路台帳補正業務に係る経費の削減が見込まれる。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路台帳整備事業費	道路の円滑な維持管理と財産管理を行うための道路台帳整備業務	新規認定及び変更のあった路線について、図面、調書等の作成	14,826 可	0.60	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192036	事務事業名	道路整備県事業負担金			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路法第52条、53条に基づく県で施工される 道路整備事業費の一部負担	事業の目的 (意図)	交通ネットワークの整備により、交通円滑化、利便性の向上
事業の内容 (手段)	県で施工される道路整備事業費の一部負担金 (1)国道315号 (2)徳山徳地線 (3)鹿野吉賀線 (4)和田上村線 (5)給島榎ヶ浜停車場線 (6)久杉高水停車場線 (7)徳山本郷線 (8)三瀬川下松線 (9)新南陽津和野線 (10)徳山光線 (11)串戸田線		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	7.0	7.0
県事業路線数	道路整備実施路線数		千円	実績値	11.0	11.0	
				達成度(%)	157.1%	157.1%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	30,000	20,000	27,750	24,750	30,000
(予算額)	うち一財	千円	3,000	2,000	2,850	2,550	3,000
(決算額)	直接事業費	千円	17,708	22,544		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	1,808	2,344		県事業進捗率の変動による	県事業進捗率の変動による
	正職員人件費	千円	1,111	733			
	人工数	人	0.15	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 18,819	決) 23,277			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始から状況変化なし		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 県事業の進捗率により負担金額の増減がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	広域交流と地域内交流を活発にする交通ネットワークの整備は必要であるが、経費負担者として事業の妥当性や貢献度の検証していく必要はある。		評価責任者コメント	交通ネットワークの整備促進を図るため、事業内容を精査しながら、負担金事業を行っていく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路整備県事業負担金	交通ネットワークの整備による交通円滑化、利便性の向上	道路法第52条、53条に基づく負担金の支払い	22,544 否	0.10	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193006	事務事業名	街路灯管理事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	夜間道路利用者 市内の街路灯及び防犯灯	事業の目的 (意図)	道路状況・交通状況を把握するための良好な視覚環境を確保し、道路交通の安全、円滑を図られる。
事業の内容 (手段)	街路灯の維持管理。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	35.0	36.0	37.0
					実績値	40.7	46.1	
					達成度(%)	116.3%	128.1%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	37,407	36,737	34,413	33,453	34,413
(予算額)	うち一財	千円	37,407	35,737	33,413	32,453	33,413
(決算額)	直接事業費	千円	34,725	34,586		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	34,725	34,586			
	正職員人件費	千円	5,184	2,564			
	人工数	人	0.70	0.35	0.15		
	支出コスト	千円	決) 39,909	決) 37,150			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成21年度から街路灯の管理を道路課へ、平成22年度からは街路灯に係る予算上の事業をこの事業に一元化した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 街路灯の数、位置などを把握するとともに、省エネに配慮し、効率的な維持管理に努めていく必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	別々に管理されていた街路灯の管理は本事業に一本化し、効率的かつ効果的な維持管理に努めていく。	評価責任者コメント	現状の街路灯について、コスト等を踏まえた改善見直しを行いながら、安全な道路環境を維持する。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	街路灯管理事業費	良好な視覚環境を確保し、道路交通の安全・円滑化を図る。	適正な街路灯配置及び省エネ器具への更新	34,586 可	0.35	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193029	事務事業名	河川改修道路改良県事業負担金			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	浴西2号線1号橋	事業の目的 (意図)	橋りょう改良により、地元住人の利便性向上に寄与できる。
事業の内容 (手段)	県が実施する2級河川西光寺川広域河川改修に伴う浴西2号線1号橋拡幅改良に伴う一部負担金		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	100.0	100.0	0.0
					実績値	100.0	100.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	20,000	4,900	0	0	0
	(予算額) うち一財	千円	2,000	500	0	0	0
	直接事業費	千円	14,251	2,212		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	1,451	312			
	正職員人件費	千円	370	366			
	人工数	人	0.05	0.05	0.00		
	支出コスト	千円	決) 14,621	決) 2,578			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	事業開始からの状況の変化は無い 橋拡幅改良に伴い、平成28年度は左岸側の市道付替えに生ずる負担金が発生している。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 県事業の進捗により事業負担金の増減がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	地元利用者の利便性の向上を図るための事業であり、また県事業負担金で実施することにより、市直営事業と比較し経費削減となる。	評価責任者コメント	地元利用者の利便性の向上を図るため、事業内容を精査しながら実施していく。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	河川改修橋りょう改良事業負担金	橋りょう改良により、地元住人の利便性向上を図る	県が実施する2級河川西光寺川広域河川改修に伴う浴西2号線1号橋拡幅改良に伴う一部負担金	2,212 否	0.05	0.00	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193001	事務事業名	市道維持管理事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路橋梁利用者	事業の目的 (意図)	道路・橋梁が安全快適に利用できるように、保全を図る
事業の内容 (手段)	①市道維持補修 ②市道清掃除草 ③街渠樹清掃 ④市道地下道清掃 ⑤道路施設等の維持管理		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	100.0	100.0	100.0
					実績値	100.0	100.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	279,013	295,523	302,134	306,494	350,000
	(予算額) うち一財	千円	194,027	267,437	273,474	252,253	310,000
	直接事業費	千円	320,441	333,579		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	234,632	298,098		施設の老朽化による 補修費等の増額	
	正職員人件費	千円	55,538	56,052			
人工数	人	7.50	7.65	7.75			
支出コスト	千円	決) 375,979	決) 389,631				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	道路施設が年々老朽化し、補修費が増大している また、市道の延長は毎年増加しており、維持管理事業もそれに伴って増大している	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく	評価責任者コメント	安心・安全な道路環境を維持することは、市民生活に密着した重要な事業である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市道維持管理費	道路・橋梁が安全快適に利用できるように、効率的かつ効果的な事業実施	①市道維持補修 ②市道清掃除草 ③街渠樹清掃 ④市道地下道清掃 ⑤道路施設等の維持管理	333,579	7.65		
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193005	事務事業名	法定外公共物維持管理事業費(道路維持)			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	中村 一幸	評価責任者(部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	法定外公共物利用者	事業の目的(意図)	法定外公共物の機能管理及び財産管理
事業の内容(手段)	境界確認及び原材料支給による法定外公共物の機能確保に努める		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	法定外公共物に係る損害賠償件数	達成項目/目標項目	件	目標値	0.0	0.0	0.0
				実績値	0.0	0.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	2,529	1,589	2,089	3,066	3,200
	(予算額) うち一財	千円	2,245	1,488	1,971	2,944	3,100
	直接事業費	千円	2,186	2,623		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	1,781	2,501		災害時における原材料支給額の見直しに伴う増額	
	正職員人件費	千円	18,142	15,020			
人工数	人	2.45	2.05	1.90			
支出コスト	千円	決) 20,328	決) 17,643				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	法定外公共物が市に譲与されたことにより平成17年度より管理事務が始まる		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 近年の集中豪雨により、法定外公共物(赤線)の損傷が多く、対応に苦慮している
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく		評価責任者コメント	住民に身近な公有財産を、利用する地元が自ら管理するための事業であるが、地域環境の変化に対応した効率的で効果的な事業を実施する

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	法定外公共物管理事業費	法定外公共物の機能管理	原材料支給による法定外公共物の機能確保	2,623 否		2.05	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193007	事務事業名	災害対応費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	台風災害等の事前準備として	事業の目的 (意図)	応急的な対応を行う
事業の内容 (手段)	土のうなどで応急的に道路河川の災害に対処するための工事費、機械設備保守管理委託料		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	5.0	5.0	0.0
					実績値	0.0	0.0	
					達成度(%)			
台風災害対応の件数	達成項目/目標項目	件						

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	400	400	400	400	400
	(予算額) うち一財	千円	400	400	400	400	400
	直接事業費	千円	0	54		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	0	54			
	正職員人件費	千円	4,073	1,465			
	人工数	人	0.55	0.20	0.40		
支出コスト	千円	決) 4,073	決) 1,519				

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	年により災害の発生数が異なる		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく		評価 責任者 コメント	災害発生時の迅速での的確な対応で、市民の安心・安全を確保する

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	災害対応費	迅速での的確な対応、体制の確保	緊急時の災害対応工事・委託	54 否		0.20	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193008	事務事業名	除雪対策費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	除雪を要する地域住民	事業の目的 (意図)	除雪対策により、生活道路の通行確保を図る
事業の内容 (手段)	降雪量、沿道条件等を考慮し、緊急度に応じた除雪作業を行う		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	除雪対策の瑕疵による損害賠償件数	達成項目/目標項目	件	目標値	0.0	0.0	0.0
				実績値	0.0	0.0	
				達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,022	4,195	4,240	4,946
うち一財		千円	4,022	4,195	4,240	4,946	5,000
(決算額)	直接事業費	千円	3,720	4,982		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	3,720	4,982		実績に基づく経費見直しに伴う増額	
	正職員人件費	千円	4,073	3,664			
	人工数	人	0.55	0.50	0.70		
	支出コスト	千円	決) 7,793	決) 8,646			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	年によって、降雪量が異なる	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 北部地域の作業効率の向上
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく	評価責任者コメント	降雪期において、迅速に除雪作業を実施し、道路の安全な交通を確保する

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	除雪対策費	生活道路の通行確保	迅速かつ効率的に道路の通行確保を行う	4,982		0.50	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193020	事務事業名	調整池管理事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	当該開発行為に係る地域住民	事業の目的 (意図)	開発許可を受けて整備された調整池の適正な管理を行う
事業の内容 (手段)	集中豪雨等により調整池に流れ込んだ土砂の撤去及び清掃作業		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	4.0	4.0	3.0
					実績値	3.0	4.0	
					達成度(%)	75.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	2,200	3,258	2,400	3,258	3,500
(予算額)	うち一財	千円	2,200	3,258	2,400	3,258	3,500
直接事業費	千円	2,200	3,252		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	2,200	3,252		実績に基づく経費 見直しに伴う増額	
	正職員人件費	千円	2,592	2,198			
	人工数	人	0.35	0.30	0.50		
	支出コスト	千円	決) 4,792	決) 5,450			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	開発により調整池が増えている	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 調整池の老朽化に伴い、補修費用が必要になってくる
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく	評価責任者コメント	近年の集中豪雨に対して、調整池は必須であり、調整池に流れ込んだ土砂の撤去等により雨水調整の機能回復を図る必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	調整池管理事業費	調整池の適正な管理	調整池に流れ込んだ土砂の撤去及び清掃作業	3,252 否		0.30	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193035	事務事業名	道路ストック点検整備事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路利用者	事業の目的 (意図)	道路が安全快適に利用できるように保全を図る
事業の内容 (手段)	路面下空洞調査、横断歩道橋点検、道路付属物点検、道路照明施設設置工事、道路照明施設撤去工事		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	路面下空洞調査延長	達成項目/目標項目	km	目標値	67.0	30.0	30.0
実績値				68.0	39.0		
達成度(%)				101.5%	130.0%		

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	43,587	60,000	30,000	41,800	30,000
(予算額)	うち一財	千円	18,900	18,900	7,500	7,500	7,500
(決算額)	直接事業費	千円	20,143	33,058		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	7,165	9,376		施設の老朽化による 補修費の増額	
	正職員人件費	千円	4,443	4,763			
	人工数	人	0.60	0.65	0.93		
	支出コスト	千円	決) 24,586	決) 37,821			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	点検により損傷等が確認された道路施設の更新工事が増えている。		課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 第三者被害を防ぐための修繕費用が、継続して確保できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由	
	事務事業 の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく		評価 責任者 コメント	安心・安全な道路環境を維持することは、市民生活に密着した重要な事業である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	道路ストック点検整備事業費	道路が安全快適に利用できるように保全を図る	道路施設点検業務委託・整備工事	33,058	否	0.65	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193028	事務事業名	通学路安全対策事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	通学路利用者	事業の目的 (意図)	通学路の交通安全を確保する
事業の内容 (手段)	区画線設置3路線、防護柵設置1路線		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	1.0	4.0	1.0
					実績値	1.0	4.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	10,000	10,000	10,000	10,000	20,000
(予算額)	うち一財	千円	500	500	500	500	1,800
直接事業費	千円	5,854	5,889		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	335	350			
正職員人件費	千円	1,851	2,198				
人工数	人	0.25	0.30	0.55			
支出コスト	千円	決) 7,705	決) 8,087				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成24年度に実施した通学路緊急点検で対策が必要な34箇所施設の整備が完了した。平成29年度は平成28年度に行った通学路合同点検によるものの整備を行う。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく	評価責任者コメント	安全な道路環境を維持するために必要な事業である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	通学路対策事業費	通学路の交通安全を確保する	安全施設等整備工事	5,890	否	0.30	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	621005	事務事業名	交通安全対策事業費			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路利用者	事業の目的 (意図)	道路を利用する全ての人が安全に通行できる道づくり
事業の内容 (手段)	道路の現状を確認し、危険個所にカーブミラー・ガードレール・区画線等の設置及び補修		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度				
					地元要望に対する対応率	達成項目/目標項目	%	目標値	100.0	100.0	100.0
								実績値	100.0	100.0	
								達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業 費	項目		単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	22,750	22,750	22,750	22,750	30,000
		うち一財	千円	22,750	22,750	22,750	22,750	30,000
	(決算額)	直接事業費	千円	22,561	22,602		対29年度増減理由	対30年度増減理由
		うち一財	千円	22,561	22,602			
		正職員人件費	千円	4,813	4,763			
		人工数	人	0.65	0.65	0.55		
	支出コスト	千円	決) 27,374	決) 27,365				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設の老朽化による補修増や交通安全意識の高まりによる要望が増えている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 限られた予算でいかに効率的、効果的に事業を実施できるかが課題である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため継続して事業を実施していく		評価責任者コメント	安全な道路環境を維持するために必要な事業である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	交通安全対策事業費	道路を利用する全ての人が安全に通行できる道づくり	交通安全施設の設置及び補修	22,602	否	0.65	
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192011	事務事業名	市道改良事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	改良要望市道	事業の目的 (意図)	市民の安心安全を確保するため
事業の内容 (手段)	●施工場所:周南市内 ●施工内容:市道改良5路線		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	1.0	5.0	
					実績値	1.0	5.0	
					達成度(%)	100.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	6,250	26,750	16,150	26,700	20,000
(予算額)	うち一財	千円	6,250	26,750	12,350	7,700	1,000
直接事業費	千円	5,702	26,000		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	5,702	26,000		徳山停車場線の工 事着手による増額	
正職員人件費	千円	2,222	2,586				
人工数	人	0.30	0.35	0.48			
支出コスト	千円	決) 7,924	決) 28,586				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	道路改良の要望は年々増加している		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 数多くの要望に対し、効率性、経済性を考慮し、必要な事業を選択する
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民の安心・安全を確保するため、事業を着実に推進する		評価責任者コメント	適切な箇所に効率よく実施する必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路新設改良単独事業	市道改良工事 【目標値:5路線】	市道改良工事 【実施箇所:5路線】	26,000 否	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192039	事務事業名	中開作線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道中開作線	事業の目的 (意図)	福川南地区の生活道路を整備する
事業の内容 (手段)	●施工場所:室尾1丁目地内 ●施工内容:バイパス道路の新設 L=560m W=12m		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度				
					取得筆数	達成項目/目標項目	筆	目標値	2.0	3.0	4.0
								実績値	2.0	0.0	
								達成度(%)	100.0%	0.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	18,500	41,500	20,100	21,200	11,000
	(予算額) うち一財	千円	2,460	3,510	2,525	2,100	1,500
	直接事業費	千円	13,141	126		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	2,461	126		交差点設計を行うため委託料の増額	
	正職員人件費	千円	1,481	2,564			
人工数	人	0.20	0.35	0.35			
支出コスト	千円	決) 14,622	決) 2,690				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年度から測量設計に着手し、平成24年度から地権者と交渉しながら用地取得を進めている		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 地権者との交渉が難航している箇所があるが、理解が得られるよう交渉する
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	用地は取得できていないが、継続して粘り強く交渉していくこととするため
	事務事業の方向性	市民の安心・安全を確保するため、事業を着実に推進する		評価責任者コメント	下水道の雨水事業と協力しながら事業を進める

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中開作線整備事業	用地買収 【目標値:用地買収 3筆】	用地買収 【実績:用地買収 0筆】	126 否	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192045	事務事業名	道路舗装事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道新町線 市道周陽孝田線 市道久米船蔵線	事業の目的 (意図)	石油交付金事業を活用し、道路舗装を行い、安心・安全・快適な道路環境を目指す。
事業の内容 (手段)	市道新町線 市道周陽孝田線 市道久米船蔵線	●施工場所:銀南街地内 ●施工場所:周陽三丁目地内 ●施工場所:五月町地内	●施工内容:整備工事L=31m ●施工内容:整備工事L=68m ●施工内容:整備工事L=203m

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	460.0	302.0	308.0
					実績値	985.0	302.0	
					達成度(%)	214.1%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	30,000	30,000	30,000	43,500	10,000
(予算額)	うち一財	千円	6,000	6,000	6,000	8,500	2,000
直接事業費	千円	36,782	26,578		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	6,162	2,578		施設の老朽化による 補修費の増額	
正職員人件費	千円	1,851	5,129				
人工数	人	0.25	0.70	0.62			
支出コスト	千円	決) 38,633	決) 31,707				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	石油交付金を活用し、舗装工事の整備を進めてきた。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 将来的に見込まれる維持管理費を把握する中で、効率的かつ効果的な事業実施を行う。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	今後も計画的に舗装改良工事を進めていく		評価責任者コメント	現状を的確に把握し、効率的に事業を進める必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	道路舗装事業	道路整備工事 【目標値:施工延長L=302m】	道路整備工事3箇所実施 【実施延長:L=302m】	26,578 否	0.70		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192061	事務事業名	野村一丁目7号線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道野村一丁目7号線	事業の目的 (意図)	都市計画道路宮の前線であり、新南陽地区の地域幹線道路として物流活性化、交通円滑化、生活環境向上を目指す。
事業の内容 (手段)	●施工場所:野村一丁目地内 ●施工内容:バイパス道路の新設 L=700m W=20m		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度				
					取得筆数	達成項目/目標項目	筆	目標値	2.0	3.0	2.0
								実績値	0.0	0.0	
								達成度(%)	0.0%	0.0%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	11,300	18,000	20,000	10,000	10,000
	(予算額) うち一財	千円	795	900	1,110	500	500
	直接事業費	千円	0	0		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	0	0		設計業務完了に伴う減額	
	正職員人件費	千円	1,481	1,099			
	人工数	人	0.20	0.15	0.45		
支出コスト	千円	決) 1,481	決) 1,099				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	未整備となっている区間700mについて用地交渉を継続している	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 地権者との交渉が難航している箇所があるが、理解が得られるよう粘り強く交渉する
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 用地は取得できていないが、継続して粘り強く交渉していくこととするため
	事務事業の方向性	用地交渉を進めると共に測量設計を実施し、部分的に工事に着手する	評価責任者コメント	交通円滑化のため、早期の事業完了を目指す必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	野村一丁目7号線整備事業	用地買収 【目標値:用地買収 2件】	用地交渉 【用地買収件数:0件】	0 否	0.15		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192076	事務事業名	過疎対策道路整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道鹿野桑原線	事業の目的 (意図)	過疎対策事業により、鹿野地区の道路整備を実施し利便性の向上を目指す。
事業の内容 (手段)	●施工場所:鹿野中地内 ●施工内容:道路改良工事 L=100m W=4.0m		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値		100.0	
					実績値		16.0	
					達成度(%)	#DIV/0!	16.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	20,000	20,000	20,000	10,000	10,000
(予算額)	うち一財	千円	0	0	0	0	0
直接事業費	千円	1,086	13,713		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	86	13		路線変更に伴う減額	
正職員人件費	千円	2,592	2,564				
	人工数	人	0.35	0.35	0.33		
支出コスト	千円	決) 3,678	決) 16,277				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度に測量設計を行い、平成28年度に工事に着手したが、法面に変状をきたしたため工法の検討が必要となった	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 法面の形状が変わったため、調査、設計、関係機関と調整が必要
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 法面の形状変更により実施内容が変更されたため
	事務事業の方向性	早期に調査設計を行う	評価責任者コメント	適切な工法を選定し、早期完成を目指す。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	鹿野桑原線整備事業	整備工事 【目標値:工事 1件】	整備工事 【工事件数:1件】	13,713 否	0.35		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192085	事務事業名	勝間原団地第1幹線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道勝間原団地第1幹線	事業の目的 (意図)	歩道、右折レーンの整備を行うことにより、歩行者の安心・安全の確保を目指す。
事業の内容 (手段)	●施工場所:呼坂地内 ●施工内容:道路改良 L=140m W=13m		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度				
					事業実施率	実施額/当初予算額	千円	目標値	4,000.0	44,000.0	65,920.0
								実績値	0.0	8,333.0	
								達成度(%)	0.0%	18.9%	

事業 費	項目		単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,000	44,000	65,920	64,000	45,000
		うち一財	千円	1,150	2,950	5,770	5,275	2,050
	(決算額)	直接事業費	千円	0	8,333		対29年度増減理由	対30年度増減理由
		うち一財	千円	0	550		補償費算定結果に 基づく減額	
		正職員人件費	千円	1,481	1,099			
		人工数	人	0.20	0.15	0.30		
	支出コスト	千円	決) 1,481	決) 9,432				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成27年度から事業を進めている		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 関係機関や地権者との調整が難航しているが、協議を進め事業の進捗を図る
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	関係機関や地権者との調整に時間を要しているが、進捗は認められるため
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、確実に事業を進めていく		評価責任者コメント	早期に事業を実施する必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	勝間原団地第1幹線整備事業	業務委託 【目標値:業務委託 3件】	業務委託 【実施委託件数:3件】	8,333 否	0.15		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193024	事務事業名	橋りょう長寿命化修繕計画事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	道路橋梁 815橋	事業の目的 (意図)	橋梁が安全快適に利用できるように保全を図る
事業の内容 (手段)	●施工場所:周南市内 ●施工内容:橋梁点検 815橋		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度				
					橋梁数	達成項目/目標項目	橋	目標値	78.0	189.0	327.0
								実績値	138.0	253.0	
								達成度(%)	176.9%	133.9%	

事業 費	項目		単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	94,000	155,000	152,000	201,000	201,000
		うち一財	千円	20,500	36,100	33,100	38,400	26,300
	(決算額)	直接事業費	千円	52,274	151,307		対29年度増減理由	対30年度増減理由
		うち一財	千円	13,923	12,141		施設の老朽化による 補修費の増額	
		正職員人件費	千円	6,665	6,961			
		人工数	人	0.90	0.95	1.65		
	支出コスト	千円	決) 58,939	決) 158,268				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年度から周南市が管理する815橋の橋梁について、5年計画で近接目視点検を行い、老朽化した橋梁について補修、更新を行なっている	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 点検の進捗に伴い、損傷度の大きい橋梁が多数確認されている。今後、それらの橋梁の補修工事に多くの財源の確保が必要となる
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	平成30年度までに815橋の橋梁点検を完了し、長寿命化修繕計画に結果を反映していく	評価責任者コメント	市民生活に密着した橋梁の維持には、今後多くの経費が予想されるため、長期的な視点で、アセットマネジメントを行い、計画的に事業を実施していく

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	橋梁長寿命化修繕計画	橋梁長寿命化 【目標値:橋梁189橋】	点検・補修設計・補修工事 【実施橋梁数:253橋】	151,307 否	0.95		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	193034	事務事業名	古川跨線橋整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	市道環状線【古川跨線橋】	事業の目的 (意図)	道路の安全と跨線橋下の旅客車両、貨物車両の安全な通過が確保できる
事業の内容 (手段)	●施工場所:清水2丁目地内 ●施工内容:橋梁整備工 L=132m		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値			
					実績値			
					達成度(%)			

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	53,500	25,788	20,288	94,313	
	(予算額) うち一財	千円	5,800	6,688	10,788	30,313	
	直接事業費	千円	486	70,755		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	486	11,366		事業着手に向けた 周辺道路の整備対 策等の実施に伴う 増額	
	正職員人件費	千円	0	7,693	1.77		
人工数	人	0.00	1.05				
支出コスト	千円	決) 486	決) 78,448				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成22年度に鉄道敷内に床版コンクリート片が落下したことを受け、補修工事を開始。 平成24年度から耐震調査及び耐震化を検討した結果、橋梁を架け替えることとした。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 大規模な橋梁の架け替えであり、地元との調整、鉄道事業者との調整を綿密に行う必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 関係機関との調整が多岐にわたるため指標が定められないが、進捗は確認できるため
	事務事業の方向性	各種の調整を速やかに行い、事業を推進する	評価責任者コメント	地域住民、JR利用者にとって、安心安全な橋となるように進めていく

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	古川跨線橋整備事業	業務委託 【目標値:業務委託 7件】	業務委託 【実施委託件数 5件】	70,755 否	1.05		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192087	事務事業名	歩道バリアフリー推進事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者 (課長)	中村 一幸	評価責任者 (部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	高齢者及び障害者	事業の目的 (意図)	だれもが安心・安全に移動できる、暮らしやすいまちを実現する
事業の内容 (手段)	歩道のバリアフリー化整備(段差解消・点字ブロックの敷設等)		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
	道路バリアフリー化延長	達成項目・目標項目	km	目標値	1.1	0.5	0.3
				実績値	1.1	0.1	
				達成度(%)	100.0%	20.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	20,091	20,091	10,091	5,000	10,091
(予算額)	うち一財	千円	2,291	991	591	250	591
直接事業費	千円	18,331	8,874		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	849	493		実施箇所精査による減額	
正職員人件費	千円	2,222	3,664				
人工数	人	0.30	0.50	0.52			
	支出コスト	千円	決) 20,553	決) 12,538			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	バリアフリー法に従い事業を実施してきた		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 進捗は計画より遅れている状況である
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	歩道の全面改修を行ったので延長がのびなかったため
	事務事業の方向性	市民の安心安全の確保のため、継続して事業を実施していく		評価責任者コメント	高齢化社会が進む中、歩道のバリアフリー化は緊急の課題である

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	歩道バリアフリー推進事業	安心して円滑に移動できる	視覚障害者誘導用ブロック設置工事の測量設計・工事	8,874 否	0.50		
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	192062	事務事業名	榑ヶ浜臨港線整備事業			
担当部・課名	建設部 道路課	評価者(課長)	中村 一幸	評価責任者(部長)	足達 正男	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600101	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生活道路の整備の促進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)生活道路の整備の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市道榑ヶ浜臨港線	事業の目的(意図)	狹隘道路の多い榑ヶ浜地区から県道梶島榑ヶ浜停車場線に至る防災避難路となり、歩道設置によって歩行者の安全性の向上を目指す。
事業の内容(手段)	●施工場所:榑ヶ浜地内 ●施工内容:道路拡幅改良工事 L=95m W=10m		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
施工延長	達成項目/目標項目		m	目標値	35.0	35.0	
				実績値	0.0	35.0	
				達成度(%)	0.0%	100.0%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	23,000		—	—	—
(予算額)	うち一財	千円	1,050		—	—	
直接事業費	千円	18,816	23,125		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	876	1,106			
正職員人件費	千円	2,592	3,297				
	人工数	人	0.35	0.45			
支出コスト	千円	決) 21,408	決) 26,422				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年度に完了した		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 交差点協議により工期を延伸したが、平成28年度に完了。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性			評価責任者コメント	早期の事業完了を目指す必要がある

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	榑ヶ浜臨港線道路整備事業	道路改良工事 【目標値:L=35m】	道路改良工事 【実施延長:L=35m】	23,125 否	0.45		
②							
③							
④							
⑤							